校区の小学校の先生方を中学校にお迎えして、公開授業づくり研究会を開いた。６学級の公開なので、給食後学校に残るクラスと下校するクラスに分かれてしまう。残ってくれた子ども達と授業者の先生と準備を進めていただたいた先生をはじめ、本校職員は、見えるところ見えないところで、一人一役がんばった。関わっていただいた方も含め、まずはお礼▼下校するクラスと入れ替わるように、各小学校から先生方が続々とやってきた。驚いたのは、生徒昇降口のロビーで、人がごった返していたこと。「○○先生～」「わあ～久しぶり～」そんな声があっちこっちから聞こえてくる。同窓会状態▼子どもたちは気分上々（おっ！懐かしい歌）今どきの言葉でいうと、テンション爆上がり？小学校の先生方もなんだか笑顔。わたしの参観した１年生は、理科室だったが、理科室の子どもたちもソワソワしている感じ▼授業後もロビーを北に南に恩師を探す小集団をあちらこちらで見かけた。実に微笑ましい光景だった▼どのクラスの子どもたちも授業がんばっていたと聞いた。小学校の先生方にいいところを見せられた。元気な姿を見ていただけたことがまずは何より▼本校職員、小学校からいただいた大切な子どもたちを、３年かけてじっくり伸ばしています▼現象はそれでよい。しかし、研究会であるから、われわれ大人の課題はちゃんとある。それな！

080916-40　校区授業づくり研修